



めざせ! One大阪 ISHIN TIMES 維新タイムズ

Vol.3
令和5年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391



大阪府議会の本会議・常任委員会で質問に立ち 医療・文化・教育・地域の課題で論戦!

大阪維新の会大阪府議会議員
うおもり

魚森ゴータロー の府政報告

大阪府議会の令和5年11月定例会は、吉村洋文知事が提出した物価高騰対策を盛り込んだ約62億円の補正予算案などを可決して12月12日に閉会しました。

私、魚森ゴータローは、この定例会の本会議で今期最初的一般質問に立ち、大阪府政並びに地域の諸課題について府理事者と議論を交わしました。9月定例会で行った教育常任委員会の質問と併せて、その概要をご報告いたします。

今後も、吉村洋文知事を支えながら大阪そして都島区のさらなる成長と発展に向けての取組みを推進してまいりますので、ご意見ご要望を賜りますようお願いいたします。



魚森ゴータローの一般質問(個人質問)

11月定例会(12月5日)

がん検診の受診率向上

Q AYA世代(若い世代)のがん検診の受診促進に向けて、どのような取組みを行っていくのか伺う。▶健康医療部長

府民向け広報物の保存

Q 大阪府が作成した府民向け広報物の保存について、どのように扱われているのか伺う。▶府民文化部長

授業料無償化制度の導入による財源確保

Q 授業料無償化制度を持続可能な制度とするため、どのように財源の確保を行うのか伺う。▶財務部長

要望

大阪の東の玄関口の京橋駅はJR各線をはじめ、京阪電車、大阪メトロが乗り入れるターミナル駅で、1日の乗降客は約50万人です。このような中、京橋交番は中央改札口付近ではなく、京阪京橋駅の西の端、高架下に位置しています。この場所では、発災時に周辺にいる方々の問い合わせが遅れてしまいます。京橋駅前再開発では、現在の位置から人流の多い場所への移転、建替を優先的に行って頂きますよう、今回も強くお願ひいたします。

不登校・いじめ対策

Q 必要な不登校・いじめ対策を講じるため、教育庁と知事部局が十分に連携し推し進めなければならないと考えるが、大阪府の認識を伺う。▶教育長

水都大阪の取組み

Q 2025年大阪・関西万博は、水都大阪を世界に発信するチャンスである。そこで、水辺にぎわい創出や舟運の活性化に向けて、どのように取り組んでいるのか伺う。▶府民文化部長

災害時における一時滞在施設の確保状況

Q 一時滞在施設の確保は、大阪府が市町村の取組みを積極的に支援することが重要である。これまでどのような支援を行ってきたのかも併せて、大阪府の所見を伺う。▶危機管理監



魚森ゴータローの委員会質問 9月定例会 教育常任委員会(10月17日)

- インフルエンザによる学級閉鎖等について
- がん教育について
- 工業系高校における企業連携について
- 大阪公立大学工業高等専門学校について
- 府立高校の再編整備について
- 閉校する学校へのフォローについて
- 質の高い教員確保策について
- 授業料無償化に向けた国への要望について

要望
是非とも近隣府県の知事と協力し、教育無償化が実現できるよう引き続き機会を捉え、国に對して要望し続けてほしい。

一般質問・常任委員会の質問の動画はこちらから▶



府政に関する
相談や
お問合せは

大阪維新の会大阪府議会議員
魚森ゴータロー

〒534-0014 大阪市都島区都島北通2丁目17-2
TEL (06) 6167-9966 FAX (06) 6167-9956
URL <http://www.uomori.net/>



万博会場建設費増額を巡り代表質問!

万博協会、経済産業省、吉村知事と論戦

坂上敏也議員 議員全員協議会(11月10日) 吉村洋文知事 府議会では25年ぶりに開催

維新府議団代表質問 坂上敏也総務会長

Q 前回増額時、国に対して、1850億円から増額する場合は1/3ルールに拘らず、国の責任において対応すべきと意見書を提出。今回500億円の増額となつたが、国は、この府議会の意見書をどう受け止めているのか。また、増額は今回で最後となるのか。

A 国>増額は想定外の物価上昇によるもので、やむを得ないものであった。また、今回、予備費も計上していることから、更なる増額はない。

Q この間、府議会が、会場建設費の増額について再三、指摘してきた中で、一貫して博覧会協会は「1850億円に収めるよう努める」との答弁であった。それにもかかわらず、なぜこのような500億円もの増額が出てきたのか。

A 協会>今まで、様々な節減努力を行ってきた。しかしながら、資材、労務費が高騰し、その影響からの増額である。

Q 会場建設費の増額などで万博開催にネガティブな報道があるが、きちんと万博開催がもたらす効果を国民に発信し、理解を求めていくべきと考える。知事は日頃から「大阪・関西万博を一過性のイベントとするのではなく、その後の経済成長の起爆剤としていく」と言っているが、具体的にどのように取り組んでいるのか。

A 知事>万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来への希望を世界に示す万博としては是非とも成功させ、その成果を成長につなげることが私の強い思い。万博後は、再生医療の产业化や、空飛ぶフルマの日常的な利用、再生可能エネルギーの実用化によるカーボンニュートラルの先導など、新技術の社会実装を強力に進めることで、新しい産業が創出され、人材や企業がさらに集積する好循環につなげる。こうした取組みをオール大阪で進め、大阪の成長につなげていく。

要望 万一これ以上の増額があるなら、国の責任において対応を。また、今後の執行状況発信にあたっては、より透明性や客觀性を確保し、国民の理解が進むよう分かり易い情報発信をお願いする。

万博推進強化の意見書案を可決 11月20日

国に提出しました!



【意見書の名称】

我が国の発展に資する大阪・関西万博の推進強化を求める意見書

【意見書の概要】

大阪・関西万博を単なるイベントとして成功させるだけではなく、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本経済の成長・発展に確実に結びつけていくためにも、開催主体である国においては、主導的な役割を果たしつつ、以下について適切に対応されるよう強く要請する。

- 1 万博の会場建設費については、新たに予備費を計上していることにも鑑み、今回の増額を最後とすること。
- 2 徹底したコスト管理とコスト縮減を可能な限り追求することに加え、定期的に会場建設費の執行状況を国民に公表することを契機に、万博に関する様々な情報の見える化を更に進めること。
- 3 万博成功の鍵となる「未来社会の実験」の実現に取り組むとともに、万博のメリットを全国で享受するためにも、機運醸成や国内外との交流拡大、子どもの参画促進など、地域の特性に応じた地方の取組みを強力に支援すること。
- 4 万博で実証・実装された最先端技術やサービスなどが、万博のレガシーとして人類共通の課題解決や日本の経済的・技術的発展に資するものとなるよう精力的に取り組むこと。
- 5 来場者の安全・安心の確保は最優先で対応されるべきものであり、必要な警備体制の構築などについては、国において万全の措置を講じること。
- 6 万博に対する非常に厳しい声があることから、万博開催の意義や会場で体験できるコンテンツ、経済効果などについて、あらゆる機会や広報媒体を活用して発信することで、国民の更なる理解促進につなげること。

物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決! 府議会11月定例会(12月12日)

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援(53億円)

畜産農家への支援(3,500万円)

トラック運送事業者への支援(6億1,600万円)

公共交通事業者への支援(2億円)

11月30日 2025大阪・関西万博 開幕まで500日

ワクワクしながら カウントダウン



「大阪来てな! 万博開催500日前イベント」が開催

大阪・関西万博アンバサダーのコブクロによるスペシャルパフォーマンスやアバンギャルディによるオープニングパフォーマンスのほか、大阪来てな大使に就任した歌舞伎俳優 片岡愛之助さんによるトークセッションなど、この日限りの特別プログラムが披露されました。



主催：大阪来てなキャンペーン実行委員会（構成団体：大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局）

場所：NHK大阪ホール

くるぞ、万博。 前売チケット販売中!!

2025大阪・関西万博

開催期間 2025年4月13日～10月13日

大阪・関西万博 公式キャラクター ミャクミャク ©Expo 2025

くわしくは こちら

QRコード

2025大阪・関西万博 大阪パビリオン 建設工事順調に進捗

令和6年10月末完成へ

2025年大阪・関西万博で大阪府・市と経済団体が出展する地元館「大阪ヘルスケアパビリオン（大阪パビリオン）」の建設工事が順調に進んでいます。建物の鉄骨工事がほぼ完了し、令和6年10月末の完成を目指し、外壁工事などが始まっています。

大阪パビリオンは、「REBORN」（リボーン）をテーマに、未来の食や文化、ヘルスケアなどをバーチャルと現実の両方から体験できるとのこと。2050年ごろのミライの都市生活をイメージした展示が行われますが、その展示や運営費は主に協賛金・寄付金を充てる予定です。

提供：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

